

1. 令和4年度事業内容等

No.	37	事業名	区民まつりの開催	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		中川区では、西・中央・東地区の公園を巡回して開催し、地域の歴史・文化の発信やスポーツの振興など、地域の特色に合わせた企画を充実させることで、区民のふれあいや交流の推進と中川区に対する誇りや愛着の醸成を図る。			
事業予定		・区民まつりの開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年10月23日（日） [場 所] 富田公園 [実施方針] 区民のふれあいや交流を推進するため出来得る限りの感染対策をとり8年振りとなる富田公園での開催を目指す。 [内 容] ①地域特色を活かした事業 富田地区の歴史的な街並みや豊かな自然を活かし、伝統的なまつりや都市農業の魅力を伝える企画を実施する。 ②ふれあい交流事業 ステージイベントのほか、大人から子どもまで楽しめる各種ゲームや体験ブース、模擬店などを実施する。			
計画目標		区民まつりの開催 1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価： — ）

計画目標	区民まつりの開催 1回
実施内容	・富田公園において、区民のふれあいや交流を目的として、感染対策を講じて、参加型のイベントを企画し、準備を進めたが、1か月半前の段階で緊急事態宣言が発出されていたため、実行委員会において中止を決定することとなった。 ・当日のイベントとしては中止したが、準備段階で協力・協賛いただいた企業や団体への感謝と、参加予定だった富田高校書道部の作品の紹介、さらに区民まつりにおいて伝えたかったテーマ、メッセージを掲載した垂れ幕を、会場となる富田公園に掲出した。
実績	区民まつりの開催 0回
総括	区民のふれあいや交流を推し進めるには、現地で実際に区民が参加できる従来の「区民まつり」のかたちであるべきと考え、当初から現地開催を目指し、企画し準備を進めた。 結果的には中止としたことを踏まえると、令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて段階的に実施内容の変更や縮小や非参加型への変更（オンライン開催等）などをあらかじめ企画し、実施できるよう検討することが必要である。

1. 令和4年度事業内容等

No.	38	事業名	スポーツ・生涯学習の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		スポーツ推進委員、体育協会、各種スポーツ関係団体と協力したスポーツ大会や美術展などの文化活動を通じて、心身ともに健康で明るい生活を築き、広く区民に参加していただくことにより、区民のふれあいと交流の推進を図る。			
事業予定		1 区スポーツ祭の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年4月～令和5年3月 [場 所] 市内各種スポーツ施設 [内 容] 学区対抗で各種スポーツ大会の開催 観戦者の制限や来賓の縮小などにより参加者総数の縮小を図るとともに、大会開催時間の短縮を図り開催する。 2 区民美術展の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示と入選作の選考 区民が身近で実際に美術作品に接する機会とするために感染対策を徹底したうえで開催し、幅広い年代参加を目指し、デジタルアート部門新設、広報には SNS 等を活用する。			
計画目標		・スポーツ大会の開催 15 回 ・区民美術展の開催 1 回			

2. 令和3年度の実施結果

(評価: ☆)

計画目標	・スポーツ大会の開催 15 回 ・区民美術展の開催 1 回
実施内容	1 スポーツ大会の開催 <u>感染対策</u> (令和3年4月～令和4年3月) 2 区民美術展の開催 <u>感染対策</u> 区民美術展及び市民美術展が中止となったため、下記代替事業を開催した。 ・中川区 Web デジタルアート展 (令和3年11月～12月) [場 所] 区公式ウェブサイト・区役所庁舎内等 [内 容] 「あなたが思い描く、橋からみた中川運河の夢の景色」をテーマに、橋からみた中川運河はこうあってほしい、と思い描く景色を表現したデジタル静止画(写真加工等を含む)を募集し、区公式ウェブサイト等にて展示した。また、受賞作品は今後区における中川運河の PR 活動に活用する。 ・中川区 Web 写真展 (令和4年1月～2月) [場 所] 区公式ウェブサイト・区役所庁舎内等 [内 容] 「みんなの元気が出る写真 in 中川」をテーマに、中川区内で撮った、自分が元気になった瞬間や見た人の気持ちが明るくなるような写真を募集し、区公式ウェブサイト等にて展示した。
実績	・スポーツ大会の開催 3 回 ・区民美術展の開催 0 回 (代替事業2回)
総括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した大会もあるが、区主催スポーツ大会を参加人数削減や感染対策を徹底したうえで3回開催できた。スポーツを通じ区民のふれあいと交流を推進するため、感染対策を徹底したうえで大会を開催する必要がある。中川区 Web デジタルアート展では若年層を中心に区民美術展日本画部門と同程度の出展があり需要を認識することができたため、区民美術展にデジタルアート部門を新設し、幅広い年代参加による美術展の充実を目指す必要がある。中川区 Web 写真展は特に若年層からの出展が多かったため、従来のチラシ等による広報に加え SNS 等も活用する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	39	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～		区分	継続
担当課	地域力推進室		関係部署（所）	土木事務所		
趣 旨	前田利家公ゆかりの地を巡る犬千代ルートにある「利家ロード～檜の又左と歩む道～」も含め、利家公の魅力を発信し、中川区に対する誇りや愛着の醸成を図る。					
事業予定	・「前田利家オリジナル商品取扱店」について、現在登録されている荒子周辺の 4 店舗、一柳通商店街の 5 店舗の広報を行うことで制度を周知し、拡充につなげる。 ・犬千代ルート上の地域の店舗への「前田利家オリジナル商品取扱店」参加の促進を行う。 ・ガイドボランティアの活動や、生涯学習センター講座における、打出街園の活用促進を行う。					
計画目標	前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 3 店舗					

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 5店舗 ・開通イベントの実施 1回
実施内容	1 「前田利家公出世の道（仮称）」の整備 中川土木事務所による打出街園の舗装整備、植栽設置と、前田利家公の足跡がわかるプレートを作成・設置した。プレート作成にあたっては、名古屋学芸大学との「官学連携プロジェクト」として行った。 2 「前田利家公出世の道（仮称）」の愛称公募 整備された打出街園の愛称の区民公募を8月に実施。3点に絞った候補の投票を行い、「利家ロード～檜の又左と歩む道～」に決定した。 3 「前田利家オリジナル商品取扱店」の拡充 一柳通商店街の加盟店舗への「前田利家オリジナル商品取扱店等登録制度」の周知と参加の促進を図り、5店舗の参加を得た。 4 「利家ロード～檜の又左と歩む道～」の開通式 感染対策 一柳通商店街との協働による開通イベントを実施。 [実施時期] 令和4年3月21日（月・祝） [場 所] 打出街園 [内 容] 開通式典と犬千代カードウォーク
実績	・前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 5店舗 ・開通イベントの実施 1回
総括	整備した打出街園「利家ロード～檜の又左と歩む道～」のPRと、イベントや生涯学習センター講座等での活用を進める必要がある。 また、今回拡充した登録店5店舗を含めた「前田利家オリジナル商品取扱店」とイベント等の取り組みについて検討していく必要がある。 打出街園の維持管理についても、土木事務所と連携し、愛護会等による地域との協力体制を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	40	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～	区分	新規
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		戸田の歴史や産業といった特色を魅力として発信するとともに、4年に一度の大祭を迎える「戸田まつり」の歴史と魅力を子どもたちはじめ次の世代への伝承を促進することで、区への愛着を育み、コミュニティ力の向上につなげる。			
事業予定		1 戸田まつり伝承の記録 4年に一度の大祭の様様や地元の語り部への取材など戸田まつりの歴史と魅力を記録した映像を作成し、区内小学校の郷土学習での活用などを通じて多くの方に見ていただき、次の世代への継承の機運とする。 2 戸田まつりの魅力発信 5つの山車が格納されている神社で戸田まつりについて知ることができる案内板を設置し、案内板の二次元コードからからの動画を見ることができる仕掛けをすることで、戸田まつりへの関心を高める。 3 戸田のまちの魅力発信イベント 戸田の農業や醸造業など体験・見学できるイベントを地域と実施し、イベントを通じて戸田のまちの魅力発信マップを作成する。			
計画目標		・郷土学習での活用 9校（富田支所管内の小学校） ・イベント実施 1回			

めざすまちの姿 魅力あふれるまち 施策 まちの魅力の発掘・発信

1. 令和4年度事業内容等

No.	41	事業名	川を生かしたまちづくり	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	土木事務所、環境事業所	
趣 旨		区名の由来となった中川運河をはじめ、7つの河川が流れる豊かな水辺環境に親しみを持ち、興味や関心を深めるきっかけを提供し、魅力を発見・発信するとともに、区民のふれあいや交流の機会とする。			
事業予定		1 中川運河の魅力発見 <u>感染対策</u> 船上と地上の双方からの視点で魅力を発見するまち歩きを、クルーズ船を活用して実施する。中川運河周辺の地元企業の協力を得て運河周辺への関心を高める。 2 庄内川多世代ふれあい事業 <u>感染対策</u> 庄内川ボートクラブ（愛知県ボート協会）との協働で水辺に親しみ、庄内川の魅力を知るボート部の学生との交流により、庄内川に関心や興味を深めることを目的とした親子対象のボート教室を実施する。 3 戸田川地域ふれあい事業 <u>感染対策</u> 戸田川上流域にて「戸田川発見隊」と協働し、地域住民や企業などの参加による大清掃と交流イベントを実施する。 [実施時期] 令和4年11月3日（木・祝） 4 荒子川の魅力発見 <u>感染対策</u> 【新規】 荒子川的环境美化と魅力発見のプロギングを実施する。			
計画目標		中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回
実施内容	1 中川運河の魅力発見 <u>感染対策</u> 中川商業高校の生徒と協働し、令和4年2月11日（金・祝）にクイズラリーイベント「中川運河 DE クイズ」を企画、運河周辺企業の協賛を得て実施した。 2 庄内川多世代ふれあい事業 <u>感染対策</u> 愛知県ボート協会との共催で、令和4年3月6日（日）に小学5年生以上対象のボート教室の実施を予定していたが、当日の天候不良により中止とした。 3 戸田川地域ふれあい事業 <u>感染対策</u> 令和3年11月3日（水・祝）に、戸田川大清掃を実施する予定だったが、コロナ禍により延期した。その後も感染拡大が収束しなかったため中止とした。 4 荒子川の魅力発見【新規事業】 <u>感染対策</u> まち歩きイベント「荒子川お花見さんぽ～これど～こだ??～」を令和3年4月3日（土）に実施。併せてフォトコンテスト「いいとこ荒子川！見～つけた！」を実施した。また、フォローアップ事業として、一柳中学校美術部の協力による「荒子川環境美化ポスター展」と荒子川へのポスター掲示を実施した。
実績	中川運河及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回
総括	それぞれの「川の魅力発信事業」において関わりのある団体等との連携が、広く魅力を発信するうえで必要である。 また、学校との連携は、若い世代への魅力発信のうえで効果的であり、企画段階からの関わりを持つことも必要である。

1. 令和4年度事業内容等

No.	42	事業名	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	これからを担う子どもたちに、中川区の特色であるものづくりの魅力を伝えていくことで、中川区に対する誇りを醸成し、愛着を深める機会とする。				
事業予定	・中川区ものづくり見学・体験会の実施 <u>感染対策</u> [場 所] 区内のものづくり企業 [内 容] 区内のものづくり企業などの協力を得て、親子を対象とした工場見学やものづくり体験を実施する。実施後、参加者の体験記や実施記録などにより、参加者以外に広く伝える。より多くの方々へものづくりの魅力を伝える観点から、区内小学校の社会見学ができるよう、協力企業を紹介するなどの連携を図る。				
計画目標	中川区ものづくり見学・体験会の実施 1回				

2. 令和3年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回
実施内容	・未来へつなげよう、ものづくりのまち中川の実施 <u>感染対策</u> 区内ものづくり企業の協力を得て、令和3年12月27日（月）に、親子を対象としたものづくり見学・体験会「親子 GoGo 工場」を実施した。 当初、借り上げバスを利用して、複数の企業への見学等を企画していたが、コロナ禍により内容を変更した。現地集合で1社のみでの実施としたが、見学・体験に加え、SDGsに関するワークショップや工作など、内容を充実させることができた。
実績	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回
総括	実施時期を小学校の冬休み期間中としたことで、年末の実施となり、企業の協力や参加が得られにくい結果となったことから、令和4年度は企業の意見も聴取しながら実施時期について検討する必要がある。 また、費用対効果を考慮し、より多くの方に還元できるような事業となるよう、見学・体験以外にも、企画内容を検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	43	事業名	まちの歴史文化を伝える・広める	区分	継続
担当課		地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区内の歴史・文化財・街道などの幅広い魅力を積極的に発信し、ふれあいや交流を図るイベントを実施することで、訪れたいまちを目指すとともに、地域で活動する団体と協働することで、区民とともに郷土愛の醸成を図る。			
事業予定		1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 <u>感染対策</u> （1）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 「はっけん・たんけん・中川区まちの魅力発信隊」のワークショップを通して隊員のガイドのレベルの底上げと、ガイドマニュアルの作成を行う。 （2）区内見どころマップ類の刷新等検討 犬千代ルート及び各街道マップの内容確認と刷新の検討を行う。 （3）区民まつりにおける区内の魅力発信 区民まつりブースにて区内の魅力発信と活動紹介及び隊員募集を行う。 （4）区内まち歩きイベントの実施 発信隊企画による魅力スポットを巡るまち歩きイベントを実施する。 [実施時期]令和5年2月～3月（仮） 2 富田地区のふれあいあるまちづくり <u>感染対策</u> 富田地区ウォーキング大会 [実施時期]令和5年3月（仮）			
計画目標		区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆ ）

計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回
実施内容	1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 <u>感染対策</u> （1）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 毎月ワークショップを開催し、活動支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中止した月もあり年間8回の開催となった。 （2）区内見どころマップ類の刷新等検討 ワークショップにおいて、「みどころマップ」の刷新に向けた検討を1年かけて行った。また、「犬千代ルートマップ」の増刷を行った。 （3）区民まつりにおける区内の魅力発信 区民まつりの中止に伴い、実施できず。 （4）区内まち歩きイベントの実施 令和4年2月26日（土）に荒子界隈でガイド付きまち歩きイベントを実施した。30名の参加応募があり、当日は25名の参加となった。 2 富田地区のふれあいあるまちづくり <u>感染対策</u> 令和4年3月19日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
実績	区内まち歩きイベント 1回
総括	郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業では、「はっけん・たんけん・中川区 まちの魅力発信隊」の活動によるところだが、団体の活性化を図るため、活動への支援方法はもとより組織運営への支援方法について、検討する必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	44	事業名	ナッピーによるふれあい・啓発活動	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	中川区マスコットキャラクター「ナッピー」と「ハボン」を活用し、区の取り組みや魅力を効果的にPRしていくとともに、認知度の向上を目指す。				
事業予定	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作成 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動 6 「ナッピー」18歳の選挙啓発活動【新規】 令和4年度はナッピーが18歳になることから選挙啓発活動として、ポスター作成と、区内高校への出前授業を統計選挙係と行う。				
計画目標	ナッピーを活用した啓発活動 40回（広報なごや以外の媒体への掲載を含む） ナッピーの認知度 50%				

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	ナッピーを活用した啓発活動（広報媒体への掲載を含む） 30回
実施内容	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 キャンペーンやイベント等の機会を捉えて、着ぐるみを活用した啓発活動を行った。（38回使用） 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製 交通安全を始めとした啓発品の作製にあたり、キャラクターデザインを活用した。（6種作成） 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 キャラクターの立ち位置を意識した活用を行うことで、キャラクターの区民への浸透を図った。 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動【新規事業】 機会を捉えてLINEスタンプの周知を行い、購入者の使用により啓発に繋げることを狙った。（年間購入者155人） 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動【新規事業】 保育園を始めとした交通安全教室において、交通安全を啓発するぬいぐるみを贈呈し、園児に向けて啓発を行った。（18回）
実績	ナッピーを活用した啓発活動（広報媒体への掲載を含む） 30回
総括	特に子どもを対象とした場合、効果的な啓発には「ナッピー」の認知度を上げることが重要となり、区役所内の各課はもとより、区内公所、さらには民間企業や団体においても、キャラクターデザインを活用していただくことも必要である。 「ナッピー」を活用した選挙啓発活動においては、総務課統計選挙係と連携し、選挙啓発として効果的な時期、対象について検討して進める必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	45	事業名	中川区みんなで歌おう第九コンサート	区分	新規
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	中川文化小劇場		
趣 旨	区民が一体となってコンサートを創り上げるにより、地域の連帯感を生みコミュニティの醸成と文化振興を図り、中川区のさらなる発展につなげる。				
事業予定	・ 中川区みんなで歌おう第九合唱団の実施 <u>感染対策</u> 中川区出身指揮者の下、区民を中心に結成された合唱団がプロのオーケストラやソリストとともに「第九」を歌い、また、観客が参加できる企画等により、一体となったコンサートを実施する [実施時期] 令和5年3月19日（日） [場 所] 愛知県芸術劇場コンサートホール [内 容] 当日までのスケジュール ・ 実行委員会設立（4月） ・ 合唱団員募集（5月） ・ 合唱団結団式（6月） ・ 合唱練習（7～3月） ・ リハーサル（令和5年3月18日（土））				
計画目標	来場者アンケート満足度 95% 合唱参加者アンケートで次回も参加したい、参加を検討すると答えた人 90%				

1. 令和4年度事業内容等

No.	46	事業名	ベジファーマーの育成	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署（所）	—		
趣 旨	農家の高齢化や後継者不足により、耕作困難となる農地が区内に増加していることから、新たな農業の担い手「ベジファーマー※ ¹ 」を育成するとともに、名古屋市農地バンク制度※ ² を活用した農地の保全を図る。				
事業予定	1 ベジファーマー育成講座の開催 <u>感染対策</u> 令和3年度より受講生の数を増やすほか、栽培技術のノウハウだけでなく農への向き合い方など幅広く学べる内容に改善して実施する。 2 農地バンクへの登録勧奨 制度について講座内で周知し、受講者に借受希望者登録を勧める。農地バンクを活用している講座修了者に実体験を話す時間をつくり新規就農を身近に感じてもらう機会を提供する。 登録を希望した講座修了者に登録農地のあっせんを行う。				
計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 12名 ・講座修了者の農地バンク借受希望者登録 5名				

※1 ベジファーマー

野菜づくりを通して地産地消と緑豊かなまちづくりに取り組む新たな農業の担い手。

※2 名古屋市農地バンク制度

農家が管理できなくなった農地を市に登録し、一定の条件を満たす希望者に紹介して貸借を支援する制度。

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 9名 ・講座修了者の農地バンク借受希望者登録 3名
実施内容	1 ベジファーマーの育成 <u>感染対策</u> 感染症対策の一環として、例年より受講生の数を少なくして講座を開催した。また、令和3年度より座学と実習とを同じ場所で開催することとした。 2 農地バンクへの登録勧奨 農地バンクの制度について講座内で周知し、受講者に借受希望者登録を勧めた。
実績	・ベジファーマー育成講座の受講生 8名 ・講座修了者の農地バンク借受希望者登録 2名
総括	受講生の数を絞っての講座開催となったが、受講生全員が講座を修了することができた。 修了生のうち数名が市外で就農することになり、本市の農地バンク登録に繋がらなかったケースもあったので、都市農業の意義を講座内で伝えるなど、市内での就農につながる講座内容にしていく必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	47	事業名	地域の特産農産物のPR	区分	継続
担当課		中川農政課	関係部署(所)	—	
趣 旨		トマトや水耕ねぎ・みつばなど地域で栽培が盛んな農産物や、中川区発祥の伝統的な農産物(野崎白菜・名古屋ちりめんハボタン)について、学校や農業者、企業等と連携し広報PRを行い、地元農産物に対する愛着意識の醸成や地産地消の推進を図る。			
事業予定		1 農産物の広報 中川区発祥農産物の紹介チラシを新たに作成・配布するなどし、区内の学校、農業者、企業等と協働して地域の特産農産物のPRを図る。 2 地産地消フェアの開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年11月 [場 所] 区役所駐車場 [内 容] 中川区発祥のあいち伝統野菜「野崎白菜」をはじめ、地元の新鮮な農産物の販売を行う。 3 中川区発祥農産物の区内学校での栽培 <u>感染対策</u> 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で生徒さんに栽培してもらうための資材を提供する。育てたハボタンの苗の一部は、地産地消フェア等のイベントで区民に配布する。			
計画目標		・地産地消フェアの開催 年1回 ・野崎白菜栽培校 5校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 5校			

2. 令和3年度の実施結果

(評価: ☆☆)

計画目標	・地産地消フェアの開催 年1回 ・野崎白菜栽培校 3校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校
実施内容	1 地元農産物の広報 なごや学マイスター講座での講義など、地元研究会等と協働して地域の特産農産物のPRを実施した。 2 野菜マルシェの開催(地産地消フェア開催の代替措置) <u>感染対策</u> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地産地消フェアが中止となったが、11月27日開催の「野菜マルシェ」(戸田川緑地)において、野崎白菜をはじめとした地元の農産物の販売を行い、地域の特産農産物のPRを行った。 3 中川区発祥農産物の区内学校での栽培 <u>感染対策</u> 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で生徒さんに種から育ててもらい、ハボタンの苗の一部は野菜マルシェで区民等に配布した。
実績	・地産地消フェアの開催 年0回(代替あり) ・野崎白菜栽培校 10校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 7校
総括	地産地消フェアは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、栽培協力学校数は増やすことができた。コロナ禍でも効果的に周知PRが図れるよう、関係機関との協働を推進し、多様なPRの機会をつくる必要がある。

1. 令和4年度事業内容等

No.	48	事業名	さまざまなメディアを活用した情報発信	区分	拡充
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		広報なごや区版をはじめ区公式ウェブサイト、SNS、地域コミュニティ誌などさまざまなメディアを活用し、より多くの方に中川区の魅力を伝えていく。			
事業予定		1 広報なごや区版、区公式ウェブサイト、SNS による情報発信 広報なごや区版や区公式ウェブサイトでは子育て世代以上を中心に、若い世代や企業向けにはツイッターやInstagramなどの SNS を活用するなど、対象者に合った効果的な発信を行う。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 3 Instagramを活用した魅力発信 【拡充】 4 名古屋市観光コンベンションビューローと連携した魅力発信 （名古屋コンシェルジュをはじめとした観光情報ツールの活用） 5 なごや歴史探検アプリなどを活用した魅力発信			
計画目標		広報なごや区版の閲覧率 55% SNS による発信件数 100 件 各メディアへの情報提供 12 件（毎月1件以上）			

2. 令和3年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	広報なごや区版の閲覧率 65% SNS による発信件数 70 件、各メディアへの情報提供 12 件（毎月1件以上）
実施内容	1 広報なごや区版、区公式ウェブサイト、SNS による情報発信 広報なごや区版の表紙を意識した紙面作りを行うことで、閲覧率の向上を目指した。また、ウェブサイトや SNS による情報発信も積極的に行い、Instagramの活用にも着手した。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 複数の地域コミュニティ誌に対して情報提供を行うことで情報発信を行ったが、掲載の有料化などにより掲載できなくなったコミュニティ誌もあった。（年間3誌17回掲載） 3 名古屋市観光コンベンションビューローなどを通じた情報提供【新規事業】 （名古屋コンシェルジュをはじめとした観光情報ツールの活用） コロナ禍によってイベントの参加者を広く集めることができなかつたり、開催そのものが不確定なものもあり、名古屋コンシェルジュ等の観光情報ツールにマッチしない等、活用に至らなかった。 4 なごや歴史探検アプリなどを活用した情報発信【新規事業】
実績	広報なごや区版の閲覧率 47.0% SNS による発信件数 270 件、各メディアへの情報提供 12 件
総括	それぞれの広報媒体の特徴を活かして、効果的に情報発信・魅力発信を行う必要がある。 地域の情報や区の魅力発信について、取り上げる地域や発信する内容、その対象となる世代が偏らないよう広く発信するために、積極的に区内の情報収集を行う必要がある。